

俳句

読み返す我が家の由来長き夜
今瀬 多代美
ままごとの母さんの役鳳仙花
綿引 英子
蝸や会ひたき人は皆遠く
中野 千賀子
露の花かすかに焦げてゐたりけり
飯田 勇一
目印の三叉路ポスト灼けてをり
竹内 幸子
ぼうぼうと雨中に燃ゆるさるすべり
田口 勝元

文芸しろさと

短歌

ビュッフェにてサンドウィッチを頬
張れば車窓に映る我が老愛し
大森 久子
喜びも悲しみもみなうたに
詠み心放ちて眠るオアシス
佐川 あや
戦時中生ききし吾は今卒寿
平和の尊さ噛み締め生きむ
所 美恵子
小さき赤ほつほつ咲ける水引草
の早やかすかなる秋を告げをり
渡辺 千紗子



川柳

万歩計腰が痛くて役立たず
富田 多蔵
祭り花火盆に帰省何も無いのが今年の夏
車田 綾子
「慣れてきて」泣かずがらばる草刈機
飯村 孝一



おたがいに身を安じつつ語ら
いてしみじみ楽し卒寿の姉妹
山形 式妙
短歌会は近々休会になるといふ
長期の付き合いに感謝してをり
杉山 みちこ
今は亡き姉の思い出語る人な
く昭和の御代は遠く去りゆく
島 愛子
城里も鹿嶋も同じコロナ禍で
ひとり留守番今日も真夏日
信田 育子
腰痛を堪えながらに秋野菜
畑を耕す夫を手伝う
富田 佐智子



色付くを日毎待ちいしパッションフ
ルート今朝赤々と地に落ちており
萩谷 登喜子
図書館で本を借りたと娘か
らコロナの中で小さな安堵
富田 欽子
那珂川の水手にすくい飲み
しころ鮎も太りて鯉暴れる
矢次 洋平

しろさとまち通信

地域おこし

—城里町地域おこし協力隊— Vol.54

城里町地域おこし協力隊の連載、10月号は石川達隆が担当します！



▲ネギの生育を確認している様子

こんにちは、農業分野で活動している石川です。早いもので、今月で任期の3年が経とうとしています。研修期間終了後は、ナス、シヨウガ、ネギ、ソラマメ、ハト麦の栽培で農業経営を考えています。あつという間の3年間でしたが、農業の厳しさや人とのつながりの大切さなど、多くのことを学びました。

1年目は、研修先の農家の皆様や先輩方に教わったことをこなすのが精一杯で、作業が追いつかず、畑の管理が全くうまく出来ませんでした。

2年目は、前年の反省をもとにしっかりと準備を行い、作業に取り組みましたが、失敗ばかりで、農業の難しさを改めて痛感した1年間でした。

3年目の現在は、天候などへの対応や除草など、経験や勉強不足を強く感じていきます。

最後になります。研修先の農家の皆様や先輩方、地域の皆様とのたくさんのお出合いは、この3年間で一番の収穫でした。皆様には、大変感謝しています。また、役場の方々にはたくさんのご支援と後押しをしていただきました。3年間お世話になりました。本当にありがとうございました。

研修で学んだことを活かし、地域の担い手として活躍できるよう日々精進していきます。今後ともご指導等よろしくお願いたします。

問合せ
農業政策課
☎029-288-3111(内線253)